



発行

宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料
利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

HPはこちら!

昨年11月からフィールドアスレチックの一部が改修工事で使用できず、ご不便をおかけしました。工事が終わり「ジグザグデッキ」と「県民の森への道」が今年の2月9日から使用できるようになりました。3月には「ウォールクライミング」が補修により使用できるようになりました。「ターザンジャンプ」と「ジャンピンボード」の一部がまだ使用できませんが、安全で楽しくご利用いただくため、ご理解とご協力をお願いいたします。

(所長：森山稔也)

4月の交通規制にご注意ください!

4月中の週末やGW中は駐車場・観桜期の土・日の9～17時ま
園内の混雑が予想されます。一方、岩切城址～青少年の森の間が
通行時は交通指導員の指示に、G 一方通行となります。(4月6・7・
W中は駐車場内の整理にあたる作 13・14・20・21・27・
業員の指示に従って下さい。 28・29日)

ご協力よろしくお願いいたします。

閉館時間・駐車場利用時間のお知らせ

4月1日(木)から閉館時間・駐車場のご利用時間が9～16時30
分までとなります。30分ですが、園内をゆっくりご利用ください。
遊歩道内は自転車・バイクの乗り入れは禁止ですのでご注意ください。



県民の森のお勧めスポット～N027～ 春は芽吹き季節

4月は芽吹き季節です。県民の森のあちこちで、
カタクリやニリンソウなど、たくさんのスプリング・エ
フェメラルに出会えます。

ミツマタも花の時期です。
3月中旬頃より咲き始めます
が、4月になると花も見頃。みつ
またの道の樹林の中を歩いていくと、
遊歩道沿いに優しい黄金色の花が目
に入ります。ふかふかのくす玉のよ
うな愛らしい花です。枝が必ず3本
に分かれて育つことからミツマタの
名がつけましたが、和紙の原料、特
に日本紙幣の原料として重要なのだそうです。



ニリンソウ

カタクリ

ミツマタ

ミソソバ

ミツガシワ

梅苑



四季の森のはやぶさの道から、はづきの
道、みつまたの道へと続きますが、少し遠回りしてうつきの
道から入るのもお勧めです。ミズバショウ、ミツガシワ、秋
にはミソソバでピンクに染まる湿地帯を抜け、尾根筋にある
梅苑は視界が広がり気持ちよく歩くことができます。また、
みつまたの道から昆虫の森の芝生広場に抜けると、遠くに山々
や街の眺望が待っています。
(恵子)

冬の鳥たち 旅立ちの季節

春は恋の季節。県民の森でもカラ類やホオジロなどのさえずりで賑やかになって来ました。今月は冬に観察できた鳥をペアでご紹介。

マヒワ、ベニマシコなど、県民の森で冬を過ごした鳥達は、そろそろ繁殖地（アジア大陸、本州北部、北海道など）に移動する時期です。

この冬、冬の鳥達を何種類くらい見かけましたか？（絵：秀・文：もち）

キクイタダキ

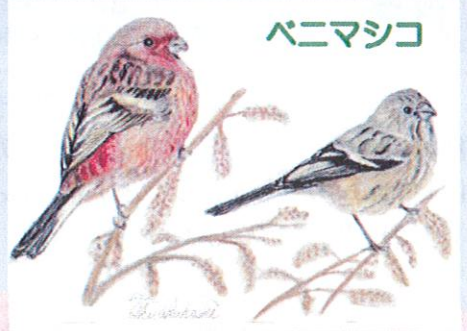


キクイタダキは少し高いお山の針葉樹林で繁殖するので、出会うチャンスも減って来ます。

マヒワ



ベニマシコ



2024年度イベントあれこれ

新年度、新しいイベントの紹介です！

『森ヨガ』は、森の中で深呼吸しながら身体をほぐします。間もなく満席です。お申込はお早めに！

『ホタルに会いに！』県民の森のホタルのお披露目です。今年一番のスポットの様子を見ながら、ご案内いたします。

『ネイチャーフォト教室』でも、初心者向け講座を新設！

『森の癒し体験』は都合により3月で終了しました。長い間、ありがとうございました。

今月の

スタッフが 찾았다 시ぜん のひとコマ けんみんのもり写真館

ネコノメソウ 猫の目草 (ユキノシタ科ネコノメソウ属)

3月中旬、沢沿いの遊歩道脇にふと目を向けると何やら些些とした黄色い花が木漏れ日を受けて物静かに微笑んでいました。県民の森の在来の草本としては春一番に咲くと言ってもよいネコノメソウ（日本固有種）でした。

花は直径2ミリほどで花びらは無く、4枚の萼片と花の周りにつく苞葉が鮮やかな黄緑色で花びらのように見えます。

名前は果実が盃状に開いた様子が、瞳孔が狭くなったネコの目に似ていることにちなみます。この盃に雨粒が落ちると、中の数十コある種子が跳ね飛ばされ、1メートルくらい離れた所に落下します。この種子散布は「雨滴散布」と呼ばれます。（片岡）



ニワトコ 庭常・接骨木 (レンブクソウ科ニワトコ属)

名前の別名、セッコツボクは接骨木という漢名の音読みです。早春の頃、花芽は山のブロッコリーと呼ばれ、その後白い花を展開します

本種の枝や樹皮を煎じて湿布薬として骨折やねんどの治療に利用されました。

枝の髓がスポンジ状のため、これに挟んで顕微鏡で観察する対象を薄く切るのにも利用されました。開花前の花序はブロッコリーに似ています。花は新枝の先に円錐花序をだし、小さな花を多数つけます。

果実は赤く熟し、おいしそうですが、青臭くて不味いです。

花期 3～5月
(駒野)



アカガシ 赤檜 (ブナ科コナラ属)

自生の北限は宮城県とも云われ高さ20mにもなる高木です。公園や寺社などに植えられ、県民の森ではヒノキ見本園脇のイオン森にあります。老木になるとうろこ状に樹皮がはがれ、まだら模様になります。樹皮がはがれるのは幹の肥大化と樹皮の乾燥による収縮と云われています。

コナラの仲間では唯一、葉に鋸歯（ギザギザ）が無く全縁で、大きい葉を持ち葉柄も長いのが特徴です。堅く密度の高い木にかかわらず高木に育つのは珍しいです。

材は大変固く粘りがあるので枕木・車両・船舶・三味線の棹や木刀に利用されました。（森谷）